



# 壬生東小だより

第4号

令和4年7月11日  
壬生町立壬生東小学校  
校長 金久保 雅彦

教育目標・仲よく助け合う子 ・よく学ぶ子 ・たくましい子  
目指す子供像「他者と協働し、目標に向かって根気強く取り組む子供」

## もうすぐ夏休み

梅雨明けも早く、気温・湿度が高く、なかなか外で思い切り遊べない日が続きます。そのような中でも子供たちは毎日元気に過ごしています。ただ、外で遊べないとやはりストレスはたまるようですね。早く、思い切り遊ばせてあげたいと思います。今年度も早3か月が過ぎ、学習の様子や行動の様子など、様々なところで子供たちの成長が感じられます。引き続きさらなるステップアップをさせたいところですが、もうすぐ夏休み、ここで指導が途切れてしまうことが残念です。

しかし、子供たちにとっては楽しみにしている長い休みです。是非、充実した夏休みを過ごしてほしいと思います。保護者の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

## 《1年生を迎える会》

6月10日、今年度初めてのなかよし班活動が実施できました。6年生が中心になり、ドッジボールや中線踏み、へびおになどをして楽しい時間を過ごすことができました。1年生は6年生が作成したメダルを首からかけてもらい大喜びでした。



## 《プール》

6月3日に6年生がプール清掃をしてくれました。そして、6月21日からプールの利用を開始しました。我々教職員も事前に心肺蘇生法の研修を行い、万が一に備えています。熱中症や感染症に配慮しながら実施しています。



## 《2年 町たんけん》

6月17日に2年生が町探検に出かけました。「くにや薬局」「国谷駅」「児童館」「生涯学習館」の4つのコースに分かれて、見学させていただきました。説明をしていただいた後、質問にも答えていただきました。引率ボランティアの方にも協力いただき、充実した活動になりました。



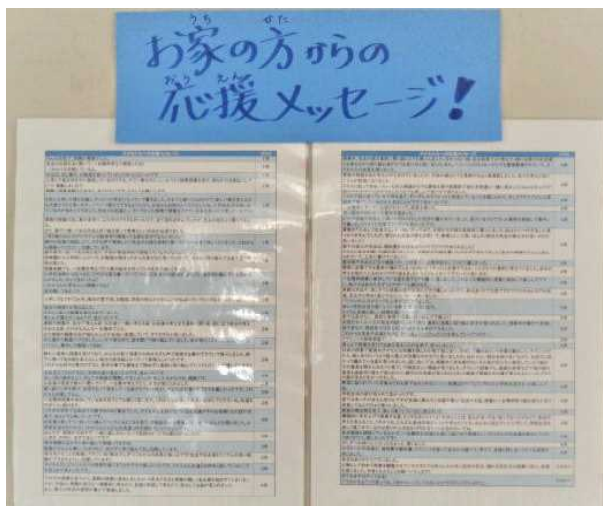
## 《4年 施設めぐり》

6月21日に1組が、27日に2組が、町の中央配水場と水処理センターの見学に行ってきました。中央配水場では、生活に必要な水がどのように管理されているか、水処理センターでは、生活で使った水が徐々にきれいになっていく様子を勉強してきました。



## 《授業参観》

6月22日に今年度2回目の授業参観を行いました。前回と同様に地区ごとに分かれていただき実施しました。子供たちの成長を多くの保護者の方々に参観していただきました。子供たちへの応援メッセージをお願いしたところ、心温まるメッセージを多数お寄せいただきありがとうございました。



## 自己肯定感を育む

自己肯定感の土台は、「自分に対する自信」だと思います。「自分ができる」と心から信じている子は、困難に直面してもチャレンジをくり返し、最後までやりきるパワーを持っています。

自己肯定感は、低すぎると消極的で内向的に、高すぎると自分を過大評価し、自己中心的で無配慮になりやすいので、バランスが取れていることが理想です。しかし、子供は自分を過大評価するぐらいがちょうどいいのです。なぜなら自己肯定感が高いほど物事に「前向き」になれるからです。自分を信じているから挑戦を続けることができ、自分を肯定できるから他人に対しても肯定的で開放的になります。

では、子供の自己肯定感を育てるには、どうしたらいいのでしょうか。一番は、ポジティブな言葉をかけ続けることだと思います。言葉は、子どもの脳に強い影響を与えます。本心ではなくてもネガティブな言葉を聞かしていると、子供からやる気や自己肯定感を奪ってしまいます。特に小学生ぐらいまでは、暗示にかかりやすいので、大人の言葉で簡単に気分が上がったり、下がったりします。少なくとも子供の前ではポジティブな言葉を増やすことが必要です。「ほめる文化」が浸透しているアメリカでは、自分の子供を褒められたら、親は「Thank You!」と相手に答えるそうです。日本では「そんなことないですよ」と謙遜して言うことが多いかもしれませんね。今度、子供が一緒の時に子供が褒められたときは、「ありがとう、この子も頑張っているみたい」と答えるのも良いかもしれませんね。

## 校長室の窓から

論語検定では、校長室に深呼吸しながら入ってくる子、途中で止まってしまう子、言えなくて泣いてしまう子など、いろいろな姿が見られました。しかし、最終的には、ほぼ全員が合格しました。緊張していた顔が、「合格」とすると、途端に笑顔になります。こんな、全児童の素敵な笑顔が見られるのは、私だけの特権です。この笑顔を大切に育てていきたいなと、改めて感じます。